



平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成22年10月27日

上場会社名 NECモバイルリング株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9430 URL <http://www.nec-mobiling.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中川 勝博 (TEL) (045) 476-6622
 問合せ先責任者 (役職名) 広報・IR室長 (氏名) 三宅 良明 配当支払開始予定日 平成22年12月1日
 四半期報告書提出予定日 平成22年11月10日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満四捨五入)

1. 平成23年3月期第2四半期の連結業績（平成22年4月1日～平成22年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	62,958	—	4,726	—	4,841	—	2,604	—
22年3月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
23年3月期第2四半期	179	20	—	—
22年3月期第2四半期	—	—	—	—

(注) 前連結会計年度末より連結財務諸表を作成しているため、平成22年3月期第2四半期の数値並びに対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円	銭
23年3月期第2四半期	63,549	36,567	57.5	2,516	77			
22年3月期	67,233	34,818	51.8	2,396	38			

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 36,567百万円 22年3月期 34,818百万円

2. 配当の状況

	年間配当金							
	第1四半期末		第2四半期末		第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭
22年3月期	—	35	00	—	50	00	85	00
23年3月期	—	50	00	—	—	—	—	—
23年3月期(予想)	—	—	—	—	50	00	100	00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無：無

3. 平成23年3月期の連結業績予想（平成22年4月1日～平成23年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	127,000	—	9,000	—	9,100	—	5,000	—	344	13

(注) 当四半期における業績予想の修正有無：有
前連結会計年度末より連結財務諸表を作成しているため、対前期増減率については記載しておりません。

4. その他（詳細は、【添付資料】P. 4 「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動：無

新規 ー社（社名 ）、除外 ー社（社名 ）、

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用：有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更：有

② ①以外の変更：無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

23年3月期2Q	14,529,400株	22年3月期	14,529,400株
23年3月期2Q	70株	22年3月期	70株
23年3月期2Q	14,529,330株	22年3月期2Q	ー株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

（注）前連結会計年度末より連結財務諸表を作成しているため、平成22年3月期第2四半期の期中平均株式数（四半期累計）については記載しておりません。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・上記及び添付資料に記載した業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものです。実際の業績は、今後様々な不確定な要因や事業運営における経済情勢、社会情勢等により異なる場合がありますので、ご承知おき下さい。業績予想の前提条件及びその他の関連する事項については、四半期決算短信（添付資料）4ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

・当社グループは、第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しております。従いまして、前四半期に関しては個別の四半期損益計算書及び四半期キャッシュ・フロー計算書を、当第2四半期連結累計期間の次ページに（参考）四半期財務諸表として記載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
4. 補足情報	12

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

① 全般的概況

平成23年3月期の連結業績 (単位:百万円)

	当第2四半期連結累計期間
売上高	62,958
営業利益	4,726
経常利益	4,841
四半期純利益	2,604

当第2四半期連結累計期間の我が国経済は、景気の持ち直し傾向は続いたものの、失業率は依然として高水準であり、デフレ傾向も続いたことから本格的な回復の動きには至らず、厳しい状況が続きました。

携帯電話販売市場では、スマートフォンの販売好調を受けて、端末販売台数は下げ止まりの傾向を見せ、前年同四半期比では増加したものの、依然として低調な水準で推移しました。

このような事業環境のもと、当社グループ(当社及び連結子会社)は店舗における顧客サービスの品質向上に努め、スマートフォンなど高機能端末への取替需要の積極的な取り込みを行うとともに、保守サービス需要の増加への対応や経営効率の改善などに取り組みました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は629億58百万円、営業利益は47億26百万円、経常利益は48億41百万円、四半期純利益は26億4百万円となりました。

なお、前年度の第2四半期累計期間は四半期連結財務諸表を作成していないため、前年同四半期累計期間との比較は行っておりません。

② 部門別概況

(ア) モバイルセールス事業

平成23年3月期の連結業績 (単位:百万円)

	当第2四半期連結累計期間
売上高	44,830
営業利益	1,461

当第2四半期連結累計期間においては、各種スマートフォンや無線LAN対応端末、高速高品質カメラを搭載した高機能端末など、端末ラインアップが充実されました。特に無線LANアクセスポイント機能を持つデータ専用端末及び携帯電話端末が投入されるとともに、データ通信定額料金の見直しなど、各主要事業者において、データ通信関連の加入者の獲得・維持、及びデータ通信促進に向けた施策が展開されました。

このような状況のもと、スマートフォンなどの高機能端末や無線LANアクセスポイント機能を持つ端末の拡販などに注力しました。これにより、販売台数は、前年度末に子会社化したマツハヤ・コーポレーション(株)による増加効果もあり、68万7千台と前年同四半期累計期間の当社単体の販売台数と比較して7%の増加となりました。

この結果、売上高は448億30百万円となりました。営業利益については、事業者の販売代理店に対する手数料体系の改定による影響があったものの、売上高が堅調であったことに加え、マツハヤ・コーポレーション(株)の子会社化の効果、周辺商材の拡販、個々のショップにおける損益改善努力、低収益事業の改善などの経営改善の取り組みの強化により、14億61百万円となりました。

(イ) モバイルサービス事業

平成23年3月期の連結業績

(単位：百万円)

	当第2四半期連結累計期間
売上高	18,128
営業利益	3,265

当第2四半期連結累計期間においては、事業者の充実した保証サービスの影響などにより、携帯電話端末の保守サービス需要が増加しました。また、事業者によるネットワーク品質改善に向けた取り組みが強化されたことから、基地局整備関連需要も増加しました。

この結果、売上高は181億28百万円となりました。営業利益については、経営効率の改善などを進め、32億65百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、受取手形及び売掛金や未収入金が減少したことなどにより、前連結会計年度末より36億84百万円減少し、635億49百万円となりました。負債合計は、支払手形及び買掛金や未払費用の減少などにより、前連結会計年度末より54億33百万円減少し、269億82百万円となりました。純資産合計は、剰余金の配当実施や四半期純利益の計上などの結果、前連結会計年度末より17億49百万円増加し、365億67百万円となりました。

この結果、自己資本比率は57.5%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末より8億16百万円増加し、214億3百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果得られた資金は、26億62百万円となりました。

これは、税金等調整前四半期純利益を計上したことに加え、売上債権や未収入金の減少などの資金増加要因が、仕入債務や未払費用の減少、法人税等の支払などの資金減少要因を上回ったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果使用した資金は、11億5百万円となりました。

これは、主に固定資産の取得による支出や関係会社株式の取得による支出であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果使用した資金は、7億40百万円となりました。

これは、主に第38期期末配当金の支払いによるものであります。

なお、前年度の第2四半期累計期間は四半期連結財務諸表を作成していないため、前年同四半期累計期間との比較は行っておりません。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間の売上高は、堅調に推移し、ほぼ期初予想通りとなりました。営業利益については、事業者の販売代理店に対する手数料体系の変更による影響があったものの、経営効率の改善（周辺商材の拡販、個々のショップにおける損益改善努力、原価低減など）に取り組み、期初予想を上回ることができました。

通期の売上高は、第2四半期連結累計期間の売上高がほぼ期初予想通りであったことから、期初予想を据え置いております。通期の営業利益につきましては、第2四半期連結累計期間までの取り組みを継続することによる利益確保を見込み、期初予想比で7億円増加の90億円としております。

なお、平成22年5月11日の決算短信で発表しました通期の業績予想との差異は以下の通りです。

(通期)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	127,000	8,300	8,400	4,800	330 37
今回修正予想 (B)	127,000	9,000	9,100	5,000	344 13
増減額 (B - A)	—	700	700	200	13 76
増減率 (%)	—	8.4	8.3	4.2	4.2
前期実績	—	—	—	—	—

(注) 前連結会計年度末より連結財務諸表を作成しているため、前期実績については記載していません。

2. その他の情報

(1) 当四半期における重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

・税金費用の計算

一部の連結子会社を除き、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

・資産除去債務に関する会計基準の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、営業利益及び経常利益が39百万円、税金等調整前四半期純利益が1億47百万円それぞれ減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は2億43百万円であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	※3 8,554	※3 8,731
受取手形及び売掛金	14,366	16,054
有価証券	3,999	2,998
商品及び製品	3,535	3,714
仕掛品	2,029	1,537
原材料及び貯蔵品	851	881
未収入金	4,774	7,989
関係会社預け金	9,000	9,000
その他	2,229	2,215
貸倒引当金	△7	△7
流動資産合計	49,330	53,112
固定資産		
有形固定資産	※1 2,297	※1 2,120
無形固定資産		
のれん	2,149	2,291
その他	796	885
無形固定資産合計	2,945	3,176
投資その他の資産	※2 8,977	※2 8,825
固定資産合計	14,219	14,121
資産合計	63,549	67,233
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,561	14,034
未払法人税等	1,963	2,566
転貸損失引当金	44	42
未払費用	7,135	9,307
その他	1,666	2,172
流動負債合計	22,369	28,121
固定負債		
退職給付引当金	3,762	3,650
役員退職慰労引当金	58	55
転貸損失引当金	12	67
その他	781	522
固定負債合計	4,613	4,294
負債合計	26,982	32,415

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,371	2,371
資本剰余金	2,707	2,707
利益剰余金	32,158	30,280
自己株式	△0	△0
株主資本合計	37,236	35,358
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△669	△540
評価・換算差額等合計	△669	△540
純資産合計	36,567	34,818
負債純資産合計	63,549	67,233

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
売上高	62,958
売上原価	52,761
売上総利益	10,197
販売費及び一般管理費	※ 5,471
営業利益	4,726
営業外収益	
受取利息	22
受取配当金	111
受取家賃	29
雑収入	10
営業外収益合計	172
営業外費用	
支払利息	2
賃貸費用	30
固定資産除却損	22
雑支出	3
営業外費用合計	57
経常利益	4,841
特別利益	
転貸損失引当金戻入額	39
貸倒引当金戻入額	10
投資有価証券売却益	1
特別利益合計	50
特別損失	
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	108
本社移転費用	137
特別損失合計	245
税金等調整前四半期純利益	4,646
法人税等	2,042
少数株主損益調整前四半期純利益	2,604
四半期純利益	2,604

(参考) 四半期財務諸表
 四半期損益計算書
 (第2四半期累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	57,719
売上原価	49,337
売上総利益	8,382
販売費及び一般管理費	※ 4,104
営業利益	4,278
営業外収益	
受取利息	36
受取配当金	117
雑収入	4
営業外収益合計	157
営業外費用	
支払利息	1
固定資産除却損	67
雑支出	2
営業外費用合計	70
経常利益	4,365
税引前四半期純利益	4,365
法人税等	1,868
四半期純利益	2,497

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

当第2四半期連結累計期間
 (自 平成22年4月1日
 至 平成22年9月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	4,646
減価償却費	441
のれん償却額	231
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△11
退職給付引当金の増減額(△は減少)	96
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	3
転貸損失引当金の増減額(△は減少)	△54
受取利息及び受取配当金	△133
支払利息	2
為替差損益(△は益)	1
固定資産除却損	22
投資有価証券売却損益(△は益)	△1
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	108
移転費用	137
売上債権の増減額(△は増加)	1,688
たな卸資産の増減額(△は増加)	△257
未収入金の増減額(△は増加)	3,221
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,454
未払費用の増減額(△は減少)	△2,307
未払消費税等の増減額(△は減少)	△1
預り金の増減額(△は減少)	143
その他	△466
小計	5,055
利息及び配当金の受取額	133
利息の支払額	△2
法人税等の支払額	△2,524
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,662
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△537
無形固定資産の取得による支出	△161
投資有価証券の売却による収入	1
関係会社株式の取得による支出	△330
事業譲受による支出	△129
その他	51
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,105
財務活動によるキャッシュ・フロー	
配当金の支払額	△726
リース債務の返済による支出	△14
財務活動によるキャッシュ・フロー	△740
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	816
現金及び現金同等物の期首残高	20,587
現金及び現金同等物の四半期末残高	* 21,403

(参考) 四半期財務諸表
 四半期キャッシュ・フロー計算書
 (第2四半期累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	4,365
減価償却費	356
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△2
退職給付引当金の増減額(△は減少)	56
受取利息及び受取配当金	△153
支払利息	1
為替差損益(△は益)	1
固定資産除却損	67
売上債権の増減額(△は増加)	1,433
たな卸資産の増減額(△は増加)	△803
未収入金の増減額(△は増加)	2,587
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,902
未払費用の増減額(△は減少)	△2,323
未払消費税等の増減額(△は減少)	△53
預り金の増減額(△は減少)	△21
その他	△111
小計	3,498
利息及び配当金の受取額	153
利息の支払額	△1
法人税等の支払額	△1,651
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,999
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△196
無形固定資産の取得による支出	△119
投資有価証券の売却による収入	46
その他	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△269
財務活動によるキャッシュ・フロー	
配当金の支払額	△436
リース債務の返済による支出	△10
財務活動によるキャッシュ・フロー	△446
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,283
現金及び現金同等物の期首残高	21,068
現金及び現金同等物の四半期末残高	※ 22,351

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(開示の省略)

セグメント情報、その他の注記事項、個別情報は第2四半期決算短信における開示の必要性が大きくないと考えられるため、開示を省略しております。

4. 補足情報

平成23年3月期第2四半期 決算補足資料

<全社>

(単位：百万円)

	<参考> 平成22年3月期 第2四半期累計期間(単体)	平成23年3月期 第2四半期連結累計期間
売上高	57,719	62,958
営業利益 (対売上高比)	4,278 (7.4%)	4,726 (7.5%)
経常利益 (対売上高比)	4,365 (7.6%)	4,841 (7.7%)
四半期純利益 (対売上高比)	2,497 (4.3%)	2,604 (4.1%)
1株当たり四半期純利益(円)	171.84	179.20

<セグメント別>

(単位：百万円)

		<参考> 平成22年3月期 第2四半期累計期間(単体)	平成23年3月期 第2四半期連結累計期間
モバイルセールス事業	売上高	41,614	44,830
	営業利益	1,692	1,461
	(営業利益率)	(4.1%)	(3.3%)
モバイルサービス事業	売上高	16,105	18,128
	営業利益	2,586	3,265
	(営業利益率)	(16.1%)	(18.0%)
合計	売上高	57,719	62,958
	営業利益	4,278	4,726
	(営業利益率)	(7.4%)	(7.5%)

(注)

1. 当社グループは、平成22年3月期第2四半期累計期間は四半期連結財務諸表を作成していないため、参考に当社単体の数値を記載しております。
2. 前期まで「モバイルサービス事業」に含めておりました携帯電話向けASPサービスなどのモバイルソリューションサービスにつきましては、当第2四半期連結累計期間においては、「モバイルセールス事業」に含めております。
なお、前第2四半期累計期間については、組み替えて表示しております。

平成23年3月期 セグメント別業績予想

(単位：百万円)

		＜参考＞ 平成22年3月期 通期単体実績	平成23年3月期 通期連結予想
モバイルセールス事業	売上高	84,837	92,070
	営業利益	3,045	2,950
	(営業利益率)	(3.6%)	(3.2%)
モバイルサービス事業	売上高	32,750	34,930
	営業利益	5,074	6,050
	(営業利益率)	(15.5%)	(17.3%)
合計	売上高	117,587	127,000
	営業利益	8,119	9,000
	(営業利益率)	(6.9%)	(7.1%)

(注)

1. 当社グループは、平成22年3月期連結会計年度は連結財務諸表（連結損益計算書）を作成していないため、参考に当社単体の数値を記載しております。
2. 前期まで「モバイルサービス事業」に含めておりました携帯電話向けASPサービスなどのモバイルソリューションサービスにつきましては、平成23年3月期通期連結予想においては、「モバイルセールス事業」に含めております。
なお、平成22年3月期通期単体実績については、組み替えて表示しております。